

## 石川県の事故多発ワースト1位交差点で啓発活動を実施

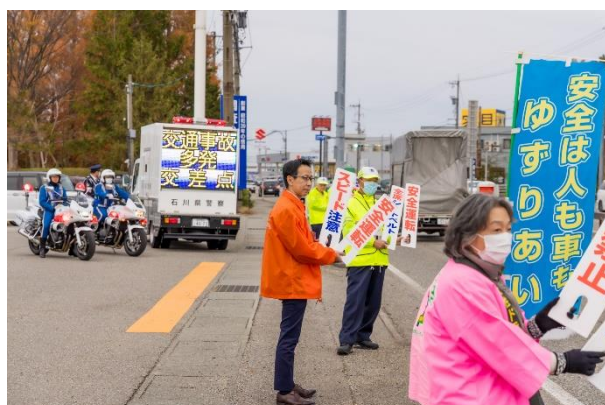
～事故多発交差点において交通安全を呼び掛け～

日本損害保険協会北陸支部委員会（委員長：南波 靖一郎・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社執行役員北陸本部長）では、12月5日（火）に、今年度の石川県における事故多発交差点ワースト1位の「総合運動公園口交差点（白山市平松町74番地2先）」において、石川県警察本部交通部交通企画課・白山警察署と連携して交通安全を呼び掛ける「街頭啓発活動」を実施しました。

当日は、サインカー（車両後部に電光掲示板を搭載した車両）で通行車両に注意喚起を行うと共に、パトカーや白バイも赤ランプを点滅させて注意を促しました。歩道上からは、ハンドプレートでドライバーに危険な交差点であることを周知すると共に、歩行者・自転車に対しては反射材等を配布するなどして交通安全を呼び掛けました。

また、今回の活動では、白山・野々市地域交通安全活動推進委員協議会や松任地区女性ドライバーズクラブの方々にもご協力いただき、HAB（北陸朝日放送）、北国新聞、読売新聞などの取材もありました。

当支部では、引き続き警察や関係諸機関・団体と連携し、交通安全の推進に向けた取り組みを進めてまいります。



当日の様子